



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

宮崎県五ヶ瀬町夕日の里づくり・・・平成18年度地域づくり
総務大臣表彰

須川 一幸 (すがわ かずゆき)

(株)地域振興研究所 代表取締役
(一社)日本イベント協会副理事長・九州本部長



○ 登録者情報

所在地

福岡県太宰府市

略歴

1983年 株式会社コニー設立
1991年 株式会社地域振興研究所設立

財団法人地域活性化センター地域づくり支援アドバイザー
財団法人電源地域振興センター専門家派遣事業登録専門家(～2011年)
2003年 財団法人地域活性化センター全国地域リーダー養成塾講師(～2011年)
2004年 九州国立博物館交流事業監修アドバイザー(～2013年3月)
2005年 財団法人地域活性化センター地域再生実践塾主任講師(～2006年)
2006年 財団法人地域総合整備財団『大学と連携した地域づくり』推進委員会委員(～2007年)
2006年 厚生労働省・地域雇用創造支援アドバイザー
2007年 財団法人自治総合センター『地域の活性化に関する研究会』委員
2007年 中小企業基盤整備機構地域ブランドアドバイザー
2008年 全国土地改良事業団体連合会農山漁村(ふるさと)地域力発掘支援モデル事業登録アドバイザー(2009年)
2008年 中小企業基盤整備機構商業活性化アドバイザー(～2013年)
2012年 地域活性化伝道師
2013年 東京富士大学経営学部イベントプロデュース学科教授就任
2013年 東京富士大学経営学部イベントプロデュース学科教授就任(～2018.3)
2018年 久留米大学経済学部非常勤講師(2018.4～)

著書・論文等

共著を含む

『都市・企業の周年記念事業企画事例集』(総合ユニコム)
イベントレポート『博覧会の実施運営』(インタークロス研究所)
『イベント企画の立て方・進め方コース』(日本能率協会)
『イベント戦略データファイル』(第一法規出版)
『これからのイベント活用コース』(日本マンパワー)
『実践経営辞典』実践経営学会編(櫻門書房)
『しっかりせんか! 宮崎観光』(毎日新聞宮崎支局)
『ニコリグットでいこう』(厚生科学研究所)
『月刊観光』『E&C展示会情報』『宣伝会議』『まちづくり』『舞たうん』などに寄稿
「都市農村交流による地域づくり——五ヶ瀬の新しい試みの実証研究——」
「内発型地域産業おこし」
「九州国立博物館のホスピタリティー 博物館のイメージを変えた市民応援団の取り組み」
「農泊のホスピタリティー 五ヶ瀬町夕日の里の取り組み」などの論文寄稿

○ 宮崎県五ヶ瀬町夕日の里づくり・・・平成18年度地域づくり総務大臣表彰

取組の内容

1993年農林水産省のグリーンツーリズムモデル事業整備構想等策定市町村に指定され、95年3月に桑野内地区を拠点地区として「五ヶ瀬町グリーン・ツーリズム基本構想」を策定しました。

町の呼びかけに応じた若手35名を中心に、約一年間にわたり、構想具体化の検討が行われ、時には住民80名を集め「反論も行政批判も一切なしで、桑野内の良いところを列挙する」夜なべ討論も行いました。多くの議論の末、住民自身が自慢できる地域資源として、最も推薦が多かったのは「阿蘇に沈む美しい夕日の景観」でありました。こうして、都市農村交流のテーマは「夕日の里」となり、96年3月に「夕日の里づくり基本計画」を策定しました。同年には、以降の取り組みの牽引車となる「夕日の里づくり推進会議」が住民主導、町を事務局として発足し、作業部会として「体験イベント部会」と「特産品・郷土料理部会」が設けられた。以後、「農村民泊部会」「物流部会」が加わり、現在「産業化部会」の準備をしています。夕日の里の取り組みでは、自助努力の考え方が貫かれています。自力で事業をする場合、可能な範囲は限られてきます。自らが担い、コントロールし得るリスクの範囲内で、そのときの身の丈の事業を企画する。果たし得る範囲内で、役割を持つこともできます。「夕日の里」の取り組みは、グリーンツーリズムによる都市農村交流の枠を越え、地域づくりの長期戦略と、人々の堅いコンセンサスの下に進められています。夕日の里版グリーンツーリズムは「地域づくり」そのものであります。

2005年秋五ヶ瀬ファイナリーがオープン。初めてのハード施設。物産館もレストランもできました。少しずつですが、経済的な活性化にも取り組み始めています。「おかえりなさい ふるさと五ヶ瀬で こころのやすらぎを」をコンセプトにこれからも新たな挑戦を始めていきます。「猪の檻のオーナー制」「野菜畑のオーナー制」「じい様の神楽塾」「ばあ様の漬物塾」などアイデアが実現する日がまもなくきます。

実績

「夕陽の里フェスタin五ヶ瀬」(16回開催。毎年2000名規模のイベントとなっている／地元は780名が住んでいる地域)

「夕日の里ふるさと体験交流ツアー」(毎年60名程度参加)

「夕日の里の四季の御膳」(2002年度の「食アメニティコンテスト」において農水大臣表彰)

「優しいスローフードづくり」(特産品加工グループは毎年2千万円以上の売上を達成)

「五ヶ瀬町夕日の里ふくおか町人会」(福岡都市圏の五ヶ瀬ファンクラブ。約200世帯)

「農家民泊」(2006年8月から実施。国内からは1600名、中国389名、シンガポール156名など海外からも多い)

「夕日の里物産館」(毎年1千万円程度の売上)

・平成18年度地域づくり総務大臣表彰(夕日の里づくり推進会議)

工夫した点や苦労した点

1995年からの取り組みで、最初の10年間はソフト事業のみで根ハード事業をしないで、「開発すべきは住民の意識」をモットーに事業を推進してきた。住民自らが企画～実施までをできるように。また、行政に頼ることなく、資金も自分たちで集め、住民自治ができるように自立力をつけていくことに重点を置いたため、一部の住民が賛同してくれなかった。また、経済的な効果を最初から求めるのではなく、住民一丸となり地域づくりをするため、ファンづくりに重点を置いたため、効果が見えなかった。しかし、10年過ぎたあたりから住民意識が見る見る変化し、今では全員参加の地域づくりとなっている。

ひとことPR

一部の成功者のまちづくりではなく、地域全体を浮揚させることができた地域はそんなにない。今では、住民が全員夕日の里づくりについて自信と誇りを持って語れるようになった。宮崎県内だけでなく、九州全域に地域づくりの「遅咲きの先進地」として視察に訪れてくれます。遠くは山形県からお見えになりました。この地域づくりの成果を県庁が評価し、地域に通じる橋に「夕日の里大橋」と命名してくれました。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策	○	9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
○	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

一般社団法人日本イベント協会	http://www.jeva.or.jp
NPO全国街道交流会議	http://www.kaido-kaigi.com/

連絡先

メールアドレス	kazusuga39[アットマーク]gmail.com	その他	
---------	--	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。